



2019.
7月号

社協マスコットキャラクター
ゆりちゃん（本名：国府ゆり）

いしおか 社協だより



染谷十二座神楽 第八座「巫女の舞」

染谷の十二座神楽は関東地方の里神楽のひとつで、大太鼓・鼓・笛・鈴が使用され、演者はそれぞれに扮装を凝らし、巫女の舞以外は仮面をかぶって、無言の所作で表現します。その起源は3～400年前から続けられているといわれています。毎年4月19日に染谷佐志能神社の例大祭に奉納されます。



石岡市立中学校制服・体操着の貸出し

社協では、市民の皆様からご提供いただいた市立中学校の制服・体操着をクリーニングし、貸出しを行っています。

利用出来る方

石岡市に住所を有し、市立中学校に在学
又は進学予定の児童、生徒を養育してい
る保護者

利用料

制 服 上下各300円
体操着 上下各200円
※貸出枚数は1人1組までになります。

※制服・体操着を譲っていただける方も随時募集しています。

『この広報誌は、皆様からの社協会費によって作成されています。』

事業と決算額をお知らせします。

平成30年度 事業報告（主な事業）

生活支援体制整備事業

人口減少、少子高齢化が社会問題となっており、支援を必要とするひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等が増加しています。石岡市では地域住民が主体となったボランティア等、地域の多様な生活支援サービスを活用しながら、地域全体で高齢者等の生活を支える体制づくりを推進しています。地域で高齢者等を支援する関係者が集まり、課題解決・情報共有の場として「協議体」を6つの中学校区に設置し、地区ごとに活動を始めています。

〈各地区の協議体の様子〉



城南地区ささえ合いネットワーク会議



府中地区スマイルネットワーク会議



国府地区おそろネットワーク会議



石岡地区ほほえみネットワーク会議

★地域づくりフォーラム（H30.12.15/H31.2.16）

生活支援体制整備事業の理解を深めるため、地域づくりフォーラムを2回開催しました。当日は区長やボランティア、協議体関係者が参加し、これからの地域づくりは支え合いと助け合いが重要であることを認識することができました。



国府地区公民館（H30.12.15）



中央公民館（H31.2.16）

地域福祉活動事業

★文京区社協との連携・相互協力

石岡市社協と文京区社協は、平常時から交流を深め、災害に備えた協力及び支援関係を築き、災害時において相互協力を行う協定を平成30年5月16日に締結しました。災害時には迅速に職員派遣や資材の提供等必要な措置を行います。



3月1日には、文京区社協主催による首都直下型地震を想定した「災害ボランティア実践訓練」へ職員3名が参加し、被災者役の自宅を町会役員、民生委員、社協職員、ボランティアと一緒に徒歩で訪問し、安否確認やニーズの聞き取り調査を行いました。

ボランティア活動事業

★災害時の調理体験教室（H30.12.1）

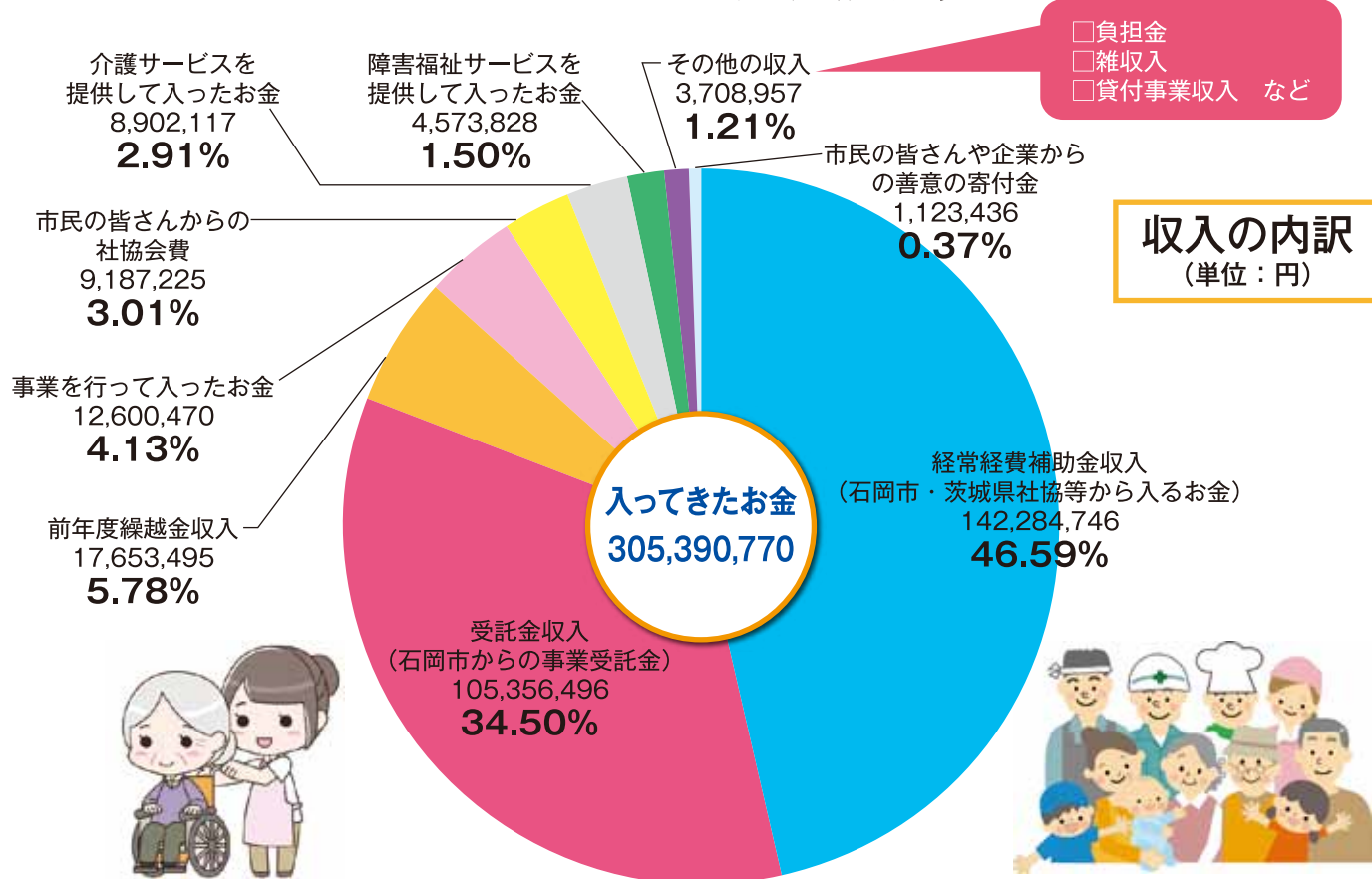
電気・ガス・水道などがストップした災害時でも、家庭にある食材や器具で簡単に料理ができる調理体験教室を開催しました。

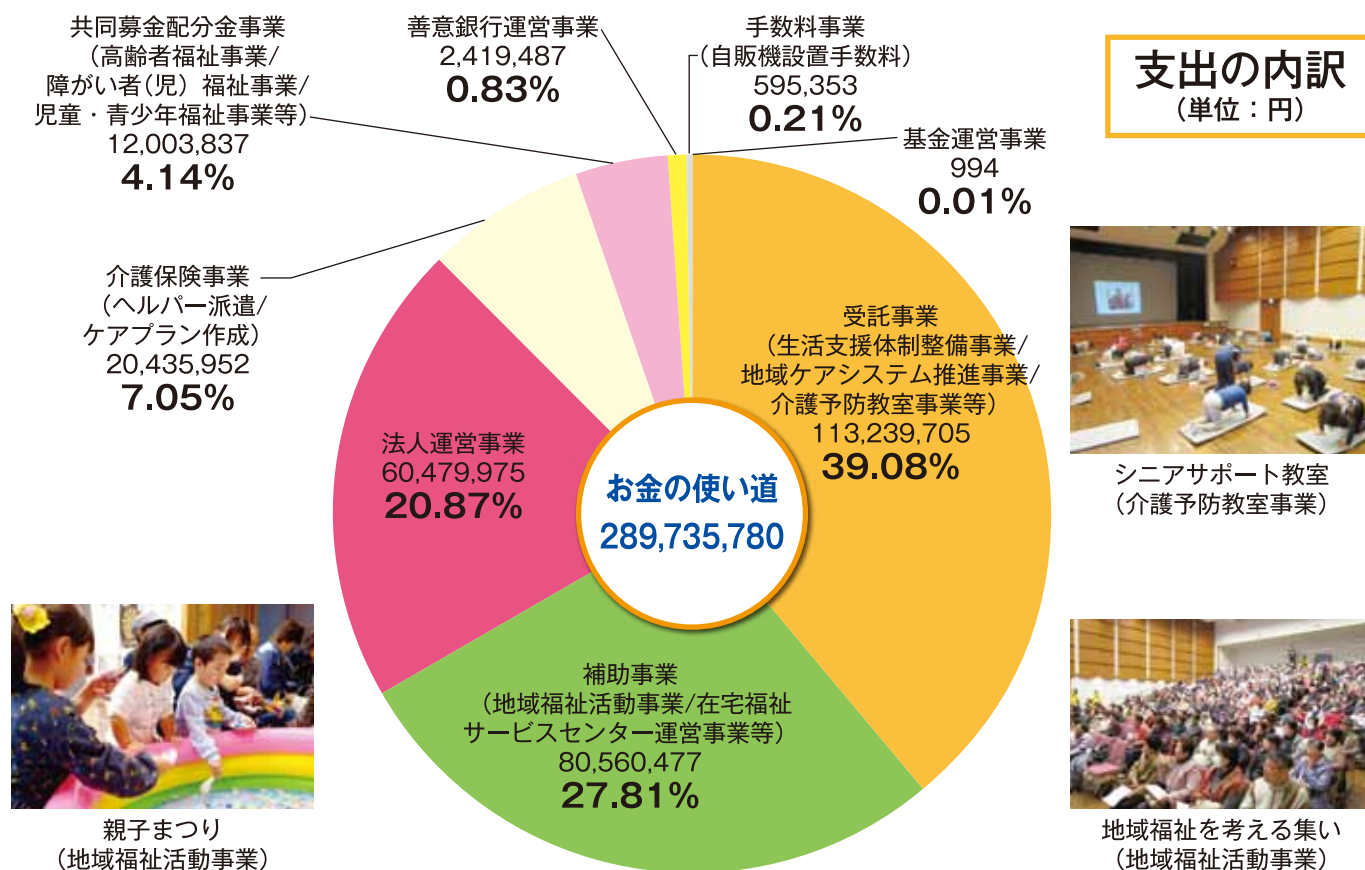
ビニール袋で米をゆでたり、カレーやバナナ蒸しパン、ポテトチップスを使ったスープを作り、参加者からは「簡単な調理方法で、こんなに美味しくできるなんて驚いた」との感想が聞かれました。



平成30年度に実施した主な 収 支 決 算

平成30年度





第4回石岡市の地域福祉を考える集い

意見発表内容紹介 No.3

2月2日(土) 「第4回石岡市の地域福祉を考える集い」が開催され、石岡市を明るく住みやすい街にしていくにはどうしたらよいかについて、高齢者や中高生、民生委員、ボランティア、福祉施設職員の8名の方々が、それぞれの立場から意見発表を行いました。前号までの6名に引き続き今号では2名の方々の意見発表内容をご紹介します。

(発表順・敬称略)

障がい者の生活をサポートして

社会福祉法人 常陸青山会
障害者支援施設 光風荘アネックス
生活支援員主任 兼 相談支援専門員

沼田 貴生



まず私の仕事を紹介させていただきます。私の職場は柏原工業団地の中にある障がい者の入所施設です。光風荘と光風荘アネックスの2つの施設があり、男女合わせて78名の方が生活しています。その他にショートステイが10床あります。

仕事内容は、主に視覚障がいや知的障がい等を持っている方たちの生活のお手伝いをする事です。その内容はとても多岐にわたります。食事・排泄・入浴の介助、日中活動として運動・レクリエーション・リハビリ・生産活動のサポート。音楽活動ではハンドベル・バンド・太鼓のチームがあり、メン

バーに楽器の演奏を教え、学校や老人施設などから依頼があれば出張演奏などにも出掛けます。利用者様は自宅に帰る事もありますが、1年の殆どを施設で過ごしていますので、日用品や衣類などの買い物をしたり、プール・温泉・外食・テマパークや遊園地に出掛けたり、1泊や2泊での旅行を企画して実施することなど。更に施設での行事としては、運動会・夏祭り・クリスマス会・大掃除・新年会・レクリエーション大会なども行っています。勤務は、早番・日勤・遅番・夜勤など6種類の勤務があり、1日中スタッフが入れ替わりながら利用者様をサポート出来る体制となっています。

毎日楽しく仕事をさせてもらっていますが、時には大変な事もあります。施設を利用する方の年齢は様々ですし、目・耳・手や足など身体に障がいがある方、知的障がいのある方など利用者様の障がいも様々です。そんな利用者様たちと一緒に旅行に出掛けたり、一緒にご飯を作って食べたり、音楽活動の担当をしている時には目標に向かって一緒に努力をしたり、施設を出て自立をしたいという方がいれば就労に向けて実習先を探したりもしました。そして施設の中で生活をしていると、毎日のように様々な問題が起こります。その一つ一つの出来事が私の仕事のモチベーションに繋がっている様に思います。

それではここでちょっと嬉しかった話をご紹介します。在宅で生活をしていた方が施設に入所しました。その方は仕事をしていた事があり、私よりもずっと人生経験の豊富な方です。ですが、その方が入所して暫くすると、頻回にナースコールでスタッフを呼び、いつも怒るようになりました。時にはスタッフに対し「自分を殺して、警察に捕まれ」という様な発言が聞かれるなど、いつも情緒の不安定な

状態でした。今まで施設の利用者様に誠意をもって接すれば通じるものがあると思って対応してきましたが、その方にはなかなか上手いきませんでした。私自身色々考えましたし、悩みました。そんな時にある方が「入所施設は良いですね。スタッフの方が利用者の事を一生懸命考えてくれて。在宅の方は大変で」という事を話してくれました。もちろん在宅で生活している障がい者の全てを指している訳ではないと思います。どんな意味か、どんな家庭環境にある方を想って言っていたかも分かりません。入所施設の利用者様もそれぞれの事情があって利用をしています。ですが、その言葉から私は少し元気を頂きました。

人にはそれぞれ生活のリズムがあり、それは生活してきた環境によって一人一人違います。入所施設での生活は、起床時間から朝昼夕の食事時間、入浴や就寝時間も決まっています。利用者様の中には身体の丈夫ではない方もいらっしゃいますので、同じリズムで生活をするという事は良い事であろうとは思いますが、さすが、集団での生活には限界があると感じてしまうのも私の本音です。一人一人にあった支援というのは本当に難しいと日々感じながら仕事をしています。

現在私は在宅で生活している障がい者の支援にも携わっています。私の入社当時と比べると福祉の制度も変わり、通所の施設やグループホーム・ショートステイ・居宅介護など、自宅で生活が出来る手段が増えてきたと思います。事業所の数には地域によって差があり、今はまだ好きな事業所やサービスを自由に選べるようにはなっていませんが、住み慣れた場所家族と共に生活が出来るという事はとても良い事だと思います。

また、入所施設の重度化・高齢化も難しい問題だ
と思います。光風荘は昭和62年に開所し、今年で32
年が経ちました。開所以来、利用されている方もお
ります。皆さん年齢を重ねられ、その中で医療的なケ
アが必要になってきたり、今まで出来ていた事が出
来なくなってきたり、障がいが重度化してくるなど
がみられるようになってきました。私たちも今まで
より身体的な介護の時間が増え、関わり方も変わっ
てきています。

また、親亡き後の支援という問題もあります。利
用者様の中には自分がどんな生活をしたいか、ま
た、どんな人生を送りたいか等、自分の考えを話す
事ができない方も多くいらっしゃいます。私たちの
支援もご本人から聞けなければ、ご家族から意見を
聞いてサポートしている部分があります。契約や財
産などには成年後見人制度があり、法律で守られて
いますが、パーソナルな部分の全てを補えるもので
はありません。少し大げさですが、私たちの支援の
方向性によつては利用者様の人生を左右してしまう
事があるかもしれません。考えても正解というもの
はなく「より良く」を目指して支援しています。

今回ここでお話をさせて頂くことに際して、自分
の仕事について考えてみました。利用者様の「より
良く」を考えながら、自分本位になっていなかった
か、利用者様の為にと思ひながら押し付けになつて
しまつてはいないか、自分自身、反省する点がある
かもしれないと思ひました。視野を広げ、利用者様
の全体を見て「より良い」利用者様の生活をこれか
らサポートしていきたいと思ひます。

泣き笑いボランティア人生

府中地区ふれあい活動交流会ボランティア

宮本 たか



私がボランティアを始めて20
数年が経ちました。

ふれあい活動交流会は一人暮
らしの高齢者の方が対象で、毎
月第4水曜日に開催していま

す。皆さんとっても元気で参加してくださいます。

37〜40名の参加です。自転車、乗合いタクシー、歩
きの方もいます。内容としては、誕生日の方に花束
をプレゼントします。プレゼンターは忙しい時間の
中、社協の仲川事務局長に来ていただいて直接渡し
てもらっています。本当に嬉しそうです。見ている
私たちも嬉しくなります。それから大きい声を出す
ということ、指の運動をしています。ハーモニカ
に合わせて歌を歌ったり、たまには私のピアノ伴奏
で歌うこともあります。人気なのは仲川局長の笛で
す。それから、毎年5月に行っている野外研修が楽
しみです。昨年は、牡丹桜で有名な静神社に行つて
きました。花は残念ながら終わつてしまつたけれ
ど、参加した45名のハートは花でいっぱいだったと
思います。美味しいお昼を食べた時にある参加者が
「お昼って、みんなで食べると美味しいんだね」と
言いました。普段はテレビを見ながらいつも一人で
食事。誰かと食べるといふ何気ない事が幸せなのか
と、私はウルツときました。

その他、方言遊びやニュースでの出来事に涙した
り笑ったり、楽しい交流会です。最後は皆で輪に
なつて炭坑節で終わります。一人一人握手をして、

また来月ね、風邪ひかないようにと声を掛け、目と
目があれば涙が…ありがとう楽しかったよとの声
に、また泣けてきます。

昔、ボランティアの先輩から、「ボランティアは
やってやるの心ではない、やらせていただくの気持
ちでやりなさい」と教えていただき、それから20数
年経ちましたが、これからもこんな素晴らしい交流
会とボランティアの仲間に感謝でいっぱいです。続
けてきてよかった、これからも笑顔と泣き笑いのボ
ランティアをがんばって行こうと思います。

レクリエーション講習会を開催



ペアで行う相性ゲーム

顔で仲良くなれ
るものばかり
で、「さっそく
自分たちのサロ
ンや交流会で
やってみよう」
との感想をいた
だきました。

5月25日(土) ふれあいの里石岡ひ
まわりの館において、ミニサロン主催
者やふれあい活動交流会ボランティア
を対象にレクリエーション講習会を開
催し、45名が参加しました。

つくば国際大学医療保健学部看護学
科の講師 矢花光先生から、高齢者向
けのトンカラリン体操や計算ジャンケ
ン、相性ゲームなどを学び、どれも簡
単なルールで、直ぐに楽しめ、皆が笑

トピックス

地域で助け合うまちづくりのための勉強会を開催



た。となりまし
るきっかけ
活動を始め
今後の地域
るとともに、
理解を深め
業について
を行い、事
ごとに分かれ
グループワー
く



グループワークの様子



講演会の様子

4月23日（火）ふれあいの里
石岡ひまわりの館で、地域で助
け合うまちづくりのための勉強
会を開催し、区長・ボランティ
ア・協議体関係者など64名が参
加しました。
当日は、公益財団法人さわか
か福祉財団から講師として長瀬
純治氏をお招きして「生活支援
体制整備事業について」と題し
た講話を行い、これからの地域
づくりは支え合いと助け合いの
まちづくりが必要であることを
訴えました。

地域福祉活動に参加をお願いします。

社 協 会 員 募 集

社協の会員・会費とは

石岡市社会福祉協議会が進める地域福祉事業は、市内の皆様の参加・協力・支援によって成り立っています。社協の会員は、事業に賛同し、会費によって資金面から支えていただくサポーターです。



ご協力をお願いします。

社協会員会費の目安

一般会員 500円から
特別会員 2,000円から

会費の使いみち

- 1 地域福祉活動事業……** 地域福祉を考える集いの開催、特殊車両（車いす対応）の貸出し、親子まつりの開催、ホームページの開示、広報誌「社協だより」の発行（年6回）等
- 2 高齢者福祉事業………** 生活支援体制整備事業、ふれあい活動交流会の開催、いきいきミニサロンの拡充、安全安心プラチナ大会の開催等
- 3 障がい者（児）福祉事業…** 野外研修活動事業及びクリスマスの集いの開催、障がい者スポーツ大会への助成等
- 4 児童・青少年福祉事業…** 子ども学習支援事業（無料塾）の開催、ベビーカー・バギーの貸出し、子ども読書応援事業の実施、中学生用制服等の貸出し等
- 5 ボランティア活動事業…** ボランティア養成講座（手話・ガイドヘルプ・災害ボランティア等）の開催、ボランティアサークルへの支援・協力、ボランティアチャレンジスクールの開催等

※その他、さまざまな事業に活用させていただいております。

お知らせ

心配ごと
相談



※予約不要

	石 岡 地 区	八 郷 地 区
実施場所	国府地区公民館	石岡市農村高齢者センター
実 施 日	7月12日・26日 8月 9日・23日 9月 6日・20日（金曜日）	7月 4日・18日 8月 1日・29日 ※8月15日は 実施しません。 9月12日・26日（木曜日）
実施時間	13:00～15:00（受付：14:30まで）	13:00～15:00（受付：14:30まで）

石岡市



きずな

石岡市

民生委員・児童委員協議会連合会
責任者 会長 三輪 康史

地域福祉のさらなる充実をめざし

石岡市保健福祉部

次長兼福祉事務所所長 菊地 正樹



民生委員・児童委

員の皆様方には、日ごろから高齢者や障がいがある方の福祉に関すること、子育てなどに関する相談・支援についてご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

私は、この4月から保健福祉部次長兼福祉事務所所長を拝命いたしました。今後においては、皆様方のご協力をいただきながら邁進してまいりたいと考えております。

民生委員は、創設から100年以上の歴史を持つ制度であり、社会福祉の増進のために、地域住民の立場から生活や福祉全般に関する相談・援助活動、また、すべての民生委員は児童福祉法により児童委員も兼ねており、多岐にわたりご尽力をいただき感謝申し上げます。

さて、当市においては平成29年度から助け合いの体制づくりを推進するため、生活支援体制整備事業に取り組んでおります。現代社会においては核家族化が進み、地域社会のつながりが薄くなっていく今日、子育てや介護の悩みを抱える人

や、障がいのある方・高齢者などが孤立し、必要な支援を受けられないケースもあります。そこで、民生委員・児童委員や他の各種団体のご協力を得ながら事業を進めているところでございます。

住み慣れた地域で一日でも長く暮らし続けたいという願いは誰もが持つており、地域で暮らすには共生社会は不可欠であり、地域づくりは共感がないとできません。これまで以上に「ふれあい・生きがい・助け合い」の地域づくりに努力してまいります。

今後ともご協力をいただけますようよろしく願い申し上げます。



頑張らずぎず出来る事を！

八郷地区 仲野谷 幸子

弟が41歳の若さで亡くなった時、私の人生観は大きく変わりました。

弟は近所の病院でインフルエンザを風邪と診断されて、解熱剤の点滴を受け、自宅に戻った1時間後に痙攣をおこしました。救急搬送された総合病院で、意識不明のまま半月後に人生を閉じたのです。救急搬送される2日前に弟夫婦と晩御飯を食べた際に「姉ちゃん、俺熱があるからもう寝るけどゆっくりしてって」「うん、大事にして、おやすみ」それが

弟と交わした最後の会話になってしまいました。

弟が亡くなる5年前に両親を癌で見送りましたが、弟の死はあまりにも突然すぎました。まだまだやりたかった事が沢山あったはずで、5歳年下の優しい弟でした。

当時私は銀行でノルマに追われる日々を送り、心身ともに疲れきっていました。が、弟の死をきっかけに私の考え方は変わったのです。今期のノルマが達成できなくても来期も再来期もある…でも健康でなければ、生きていなければ何も結果は残せない。支店長だった私は、部下への接し方も変えました。全てを達成しようと思わずに、必須項目と得意分野を伸ばせば良い。あなたの健康、家族の健康が何よりも大切だからと、言葉にして伝えました。ところがそれはノルマ達成への良い効果にも繋がったのです。

退職後は「キョウヨウ、キョウイク」が減りました。「今日の用事、今日行く所」を増やそう。地域の役員を幾つか引き受け、民生委員・児童委員も拝命しました。自分出来る範囲で地域や社会との繋がりを大切にし、後悔が残らないような生き方が出来たらと思っています。



こんにゃくの花

お知らせ

「石岡都々逸かるた」の作成 ～石岡市の名所旧跡等を都々逸で紹介～



★かるたは、1組500円で販売します。
(販売先：石岡市社協本所)

石岡市社協では、市民が、自分の生まれ
た地域を知ることによって、地域に愛着を
持ち、郷土を愛する心を育み、お互いを思
いやり、助け合う住みよい石岡市を創るこ
とを目的として、市内の名所旧跡、産物等
を都々逸で紹介した「**石岡都々逸かるた**」
を作成しました。

市内の名所旧跡、特産
物等38か所(物)、39首
の都々逸で紹介しました。
取り札は名所等の名称と
写真を記載し、読み札は
名所等を都々逸で読んだものです。読み札
に掲載した都々逸は、石岡俚謡会(会長
助川 浩史)の会員の皆様方に協力をいた
だきました。

かるたは、高齢者施設やミニサロン等で
好評を得ています。また、公民館講座でも
活用を予定しています。



善意銀行

感謝の報告

心温まるお気持ちをお寄せいただきまして、誠にありがとうございます。
お預かりしました善意は、地域福祉の向上のために活用させていただきます。

平成31年4月1日～令和元年5月31日まで(順不同・敬称略)

物品の部

小田倉 ふく	プラチナ応援券(500円券)	4枚
井坂 日出代	プラチナ応援券(500円券)	8枚
匿名	石鹼 冷却剤	100個 20個
匿名	洗剤 調味料	3箱 1箱
パーラーデルジャン小美玉店	お菓子	3箱
石岡市聴覚障害者協会	未使用ハガキ	157枚
高橋 利子	醤油 トイレトペーパー	2本 20個
パールショップともえ石岡店	お菓子	2箱

金銭の部

昭和43年度石岡中学校卒業生同窓会	14,389円
1ヶ月1分のお仕事を教える会 関 健司	15,504円
石岡親と子の映画会	42,011円
匿名	5,000円
坂場 誠一	5,000円

八郷たんぼぼの会	煎餅	1箱
	そうめん	1袋
	焼き海苔	5袋
	だしの素 プラチナ応援券(500円券)	1箱 8枚
匿名	飲料水 油	17本 1本
匿名	使用済みテレフォンカード	121枚
	食品類	7点
	洗剤類	10点
	未使用タオル	42枚
匿名	米	90kg
坂場 誠一	カップ麺	2個
	缶詰	4個
	レトルトカレー・その他	3個

使用済・未使用切手

- ◆石岡第一病院在宅支援センター ◆匿名 ◆救護施設慈翠館
- ◆i・マリッジスクエア ◆狩谷電機株式会社
- ◆石岡市くらしの会連絡会 ◆匿名 ◆有限会社メイホウ

問い合わせ・申し込み
(土、日、祝日を除く)

社会福祉法人 石岡市社会福祉協議会

本所

〒315-0009
茨城県石岡市大砂10527番地6
ふれあいの里石岡ひまわりの館内
TEL 0299 (22) 2411(代)
FAX 0299 (22) 2440
E-mail: shakyou@atlas.plala.or.jp



八郷支所

〒315-0116
茨城県石岡市柿岡2155番地
石岡市農村高齢者センター内
TEL 0299 (36) 4311
FAX 0299 (36) 4312
E-mail: ishishakyo.yasato@orange.plala.or.jp

